

川崎市建築物環境配慮制度受付番号 20038

建築物名称	(仮称)川崎市中原区上丸子八幡町計画
建築主	株式会社モリモト 代表取締役社長 森本 浩義
建築物の所在地	川崎市中原区上丸子八幡町812-2ほか
設計者氏名、建築士事務所名	宮尾 享 株式会社スペーステック 一級建築士事務所
工事種別	新築
床面積の合計	2,708.71m ²
用途	共同住宅
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上14階
工事完了年月	令和4年6月
自然エネルギーの利用 (利用を検討した自然エネルギーの種類)	太陽光発電、太陽熱利用、燃料系潜熱回収瞬間式給湯器
自然エネルギーの利用 (利用を決めた自然エネルギーの種類)	燃料系潜熱回収瞬間式給湯器

Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency CASBEE川崎

■使用評価マニュアル: CASBEE-川崎2017年版

使用評価ソフト: CASBEE-川崎2017(v.3.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)川崎市中原区上丸子八幡町計画	階数	地上14F
建設地	川崎市中原区上丸子八幡町812-2ほか(地名地番)	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	96人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	
竣工年	2022年6月 竣工	評価の実施日	2020年12月7日
敷地面積	541 m ²	作成者	長谷川 高晴
建築面積	231 m ²	確認日	2020年12月7日
延床面積	2,709 m ²	確認者	長谷川 高晴

外観パース等
パースの公表を希望される場合は
図を貼り付けてください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

環境品質 G vs 環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 83%
③上記+②以外の 83%
④上記+ 83%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 2
Q3 室外環境(敷地内): 2
LR1 エネルギー: 1
LR2 資源・材料: 1
LR3 敷地外環境: 1

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

音環境	2.9
温熱環境	3.2
光・視環境	3.3
空気質環境	3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

機能性	4.0
耐用性・信頼性	3.0
対応性・更新性	3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

生物環境	1.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

建物外皮の熱負荷	4.0
自然エネルギー	2.0
設備システム効率化	3.7
効率的運用	3.0

LR2 資源・材料

LR2のスコア = 2.9

水資源保護	3.0
非再生材料の使用削減	2.9
汚染物質回避	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化への配慮	3.6
地域環境への配慮	2.5
周辺環境への配慮	3.0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目についての環境配慮概要		実績重点項目スコア 合計/ 重点項目最高点のスコア合計	重点項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
緑の保全・回復(G)		Gの平均点	2.1
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物環境の保全と創出 2 まちなみ・景観への配慮 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	川崎市緑化指針に適合した緑化計画 商店街の通りに面するアプローチに大きな緑地を設置	1.8/4.3	2.1
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.3/0.8	2.0
地球温暖化防止対策の推進(W)		Wの平均点	2.7
Q-1 ■ 室内環境対策 2 2.1 2.1.2 外皮性能 3 3.1 3.1.3 昼光利用設備 3.2 3.2.1 昼光制御	断熱性能等級4 カーテン、及び、バルコニー庇による制御	4.8/6.2	3.8
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物環境の保全と創出 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	川崎市緑化指針に適合した緑化計画	0.6/2.3	1.3
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	断熱性能等級4 BEI=0.93	3.5/5.0	3.5
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減 3 3.2 フロン・ハロンの回避	LGSの使用	2.8/4.7	2.9
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.3/0.8	2.0
資源の有効利用による循環型地域社会の形成(R)		Rの平均点	3.1
Q-2 ■ サービス性能対策 2 2.2 部品・部材の耐用年数	劣化対策等級3	0.3/0.5	3.2
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減	LGSの使用	2.3/4.0	2.9
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.3 地域インフラへの負荷抑制		0.3/0.4	3.3
ヒートアイランド現象の緩和(H)		Hの平均点	2.3
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物環境の保全と創出 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	川崎市緑化指針に適合した緑化計画	0.6/2.3	1.3
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	断熱性能等級4 BEI=0.93	3.5/5.0	3.5
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.3/0.8	2.0

注)重点項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

重点項目への貢献点の平均点 **2.5**

ライフサイクルCO2評価対象項目についての環境配慮概要		実績スコア合計/ 最高点のスコア合計	ライフサイクル CO2評価対象 項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
建設段階			
Q-2 ■ サービス性能対策 2 2.2 2.2.1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3	0.1/0.1	5.0
修繕・更新・解体段階			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 2 2.2 既存建築躯体等の継続利用 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		0.7/1.2	3.0
運用時のエネルギー			
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	断熱性能等級4 BEI=0.93	3.5/5.0	3.5

注)ライフサイクルCO2評価対象項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

スコアシート		重点項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		G	W	R	H		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質										3.0	
Q1 室内環境							0.40		-	3.2	
1 音環境						2.0	0.15	3.3	1.00	2.9	
1.1 室内騒音レベル						1.0	0.50	3.0	0.50		
1.2 遮音						3.0	0.50	3.6	0.50		
1 開口部遮音性能					T-2サッシ	3.0	1.00	5.0	0.30		
2 界壁遮音性能						3.0	-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20		
1.3 吸音						4.0	-		-		
2 温熱環境						1.0	0.35	4.0	1.00	3.2	
2.1 室温制御						1.0	0.50	4.0	1.00		
1 室温						1.0	0.63	-	-		
2 外皮性能			W		断熱性能等級4	1.0	0.38	4.0	1.00		
3 ゾーン別制御性						1.0	-		-		
2.2 湿度制御						1.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式						1.0	0.30	-	-		
3 光・視環境						1.5	0.25	4.0	1.00	3.3	
3.1 昼光利用						1.8	0.30	4.0	0.50		
1 昼光率					開口の広い開口部	1.0	0.60	5.0	0.50		
2 方位別開口							-	3.0	0.30		
3 昼光利用設備			W			3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策						1.0	0.30	4.0	0.50		
1 昼光制御			W		カーテン、及び、バルコニー底による制御	1.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度						3.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御						1.0	0.25	-	-		
4 空気質環境						2.2	0.25	3.6	1.00	3.2	
4.1 発生源対策						3.0	0.60	4.0	0.63		
1 化学汚染物質					F☆☆☆☆建材の使用	3.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気						1.0	0.40	3.0	0.38		
1 換気量						1.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能						1.0	-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮						1.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理							-		-		
1 CO ₂ の監視						1.0	-		-		
2 喫煙の制御							-		-		

Q2 サービス性能					—	0.30	-	-	3.4
1 機能性									
					3.0	0.40	4.4	1.00	4.0
1.1 機能性・使いやすさ									
					3.0	0.40	5.0	0.60	
1	広さ・収納性			高速インターネット設備		-	-	-	
2	高度情報通信設備対応				3.0	1.00	5.0	1.00	
3	バリアフリー計画								
1.2 心理性・快適性									
					3.0	0.30	3.5	0.40	
1	広さ感・景観			天井高の確保		-	4.0	0.50	
2	リフレッシュスペース				3.0	-	-	-	
3	内装計画				3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理									
					3.0	0.30	-	-	
1	維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-	
2	維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性									
					3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振									
					3.0	0.50	-	-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-	
2	免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数									
					3.2	0.30	-	-	
1	躯体材料の耐用年数	R		劣化対策等級3	5.0	0.20	-	-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	R			2.0	0.20	-	-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	R			3.0	0.10	-	-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	R			3.0	0.10	-	-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	R			3.0	0.20	-	-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	R			3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性									
					3.0	0.20	-	-	
1	空調・換気設備				3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-	
3	電気設備				3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備				3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性									
					3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり									
							3.2	0.50	
1	階高のゆとり			階高の確保		-	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ					-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり									
							3.0	0.50	
3.3 設備の更新性									
					3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)									
					—	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出				G	W		H	川崎市緑化指針に適合した緑化計画	
					1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				G					
					3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮									
					2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上									
					3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				G	W		H		
					2.0	0.50	-	-	

LR 建築物の環境負荷低減性										3.1	
LR1 エネルギー						0.40				3.4	
1 建物外皮の熱負荷抑制	W		H	断熱性能等級4		4.0	0.20			4.0	
2 自然エネルギー利用	W		H			2.0	0.10			2.0	
3 設備システムの高効率化	W		H	[BEQ][BEIm] = 0.93		3.7	0.50			3.7	
4 効率的運用						3.0	0.20			3.0	
集合住宅以外の評価											
4.1	モニタリング	W		H		3.0					
4.2	運用管理体制	W		H		3.0					
集合住宅の評価						3.0	1.00				
4.1	モニタリング	W		H		3.0	0.50				
4.2	運用管理体制	W		H		3.0	0.50				
LR2 資源・マテリアル						0.30				2.9	
1 水資源保護		W		R		3.0	0.20			3.0	
1.1 節水						3.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60				
1	雨水利用システム導入の有無					3.0	1.00				
2	雑排水等利用システム導入の有無					3.0					
2 非再生性資源の使用量削減						2.9	0.60			2.9	
2.1 材料使用量の削減		W		R		3.0	0.10				
2.2 既存建築躯体等の継続使用		W		R		3.0	0.20				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		W		R	-	3.0	0.20				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		W		R	-	1.0	0.20				
2.5 持続可能な森林から産出された木材		W		R		2.0	0.10				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		W		R	LGSの使用	5.0	0.20				
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.0	0.20			3.0	
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30				
3.2 フロン・ハロンの回避						3.0	0.70				
1	消火剤	W				-					
2	発泡剤(断熱材等)	W				3.0	0.50				
3	冷媒	W				3.0	0.50				
LR3 数地外環境						0.30				3.0	
1 地球温暖化への配慮		W			LCCO2排出率が一般的な建物に対して83%	3.6	0.33			3.6	
2 地域環境への配慮						2.5	0.33			2.5	
2.1 大気汚染防止						3.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善		G	W		H	2.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.0	0.25				
1	雨水排水負荷低減				R	3.0	0.25				
2	汚水処理負荷抑制				R	3.0	0.25				
3	交通負荷抑制				R	3.0	0.25				
4	廃棄物処理負荷抑制				R	3.0	0.25				
3 周辺環境への配慮						3.0	0.33			3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40				
1	騒音					3.0	1.00				
2	振動					-					
3	悪臭					-					
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制						3.0	0.40				
1	風害の抑制					3.0	0.70				
2	砂塵の抑制					3.0					
3	日照障害の抑制					3.0	0.30				
3.3 光害の抑制						3.0	0.20				
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					3.0	0.70				
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30				

20038

(仮称)川崎市中原区上丸子八幡町計画

このマンションは分譲住宅環境性能表示の届出を行っています。

建築主は分譲共同住宅環境性能表示を販売広告に掲載した日から15日以内に届け出る
ことになっており、これにより公表しています。



この表示は川崎市の定めた基準に従って、建築主が自らの計画を評価した内容に
基づいています。